

滞在中から知っておきたい日本の教育!

世界13カ国
41エリアに配布中!

FREE

VOL.27

2019 春&夏

帰国 便利帳

Interview

ジョン・カビラさん

海外&帰国子女を
応援する学校紹介 **74校!**

2019年 中学入試結果 **速報!!**

世界で進むSTEM教育
日本ではどうなってるの?

Q&Aで丸わかり!
帰国後の

入学
大成功マニュアル

Q

入るための試験はどんな内容なの？

A

書類審査、エッセイを含む筆記試験、面接が基本。英語力が試されます。近年はスクールカウンセラーによる適性検査を実施する学校も増えています。(石塚氏)

どの審査でも高い英語力が必須に

インターの(編)入学試験の3本柱は書類審査、エッセイを含む筆記試験(学科試験、またはコンピューター上で受ける学科のテスト「MAPテスト」、そして面接だ。どの審査でも肝になるのは英語力だという。

「すべての試験で学年相当のネイティブレベルの英語力が必須です。意外と多いのが、書類審査の志望動機欄や面接でインターを志す理由を『海外で磨いた英語力をさらに伸ばしてほしいから』とすること。これはタブーです。なぜなら言語

の授業を除けば、ご存じの通り、インターは英語で

学ぶ場所であって、英語を学ぶ場所ではないからです。英語力の判断材料として重視されるのは筆記試験に含まれるエッセイ。エッセイを読めば、その子の全体の英語力がわかると言われて

近年は適性検査の実施校も増えている

また石塚氏によると、近年ではこうした3つの試験に加えて、(編)入学後にスムーズな学校生活を送れるかどうかを見るための適性検査を実施する学校も増え

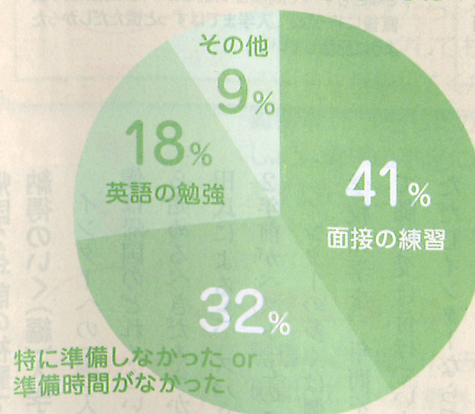
ているという。

「適性検査とは、受験する子どもたちを教室などで自由に過ごさせて、自然な状態での様子を観察したり、子どもと試験官との会話のなかで言葉遣いや本人の家庭での様子、家での教育方針などを把握・考査したりするものです。子どもの精神状態などを総合的に確認するため、主にスクールカウンセラーが担当します」(石塚氏)

次ページからはインター5校に尋ねた(編)入学試験(書類審査、筆記試験、面接)の傾向を列挙。参考にしてみてほしい。

体験談 我が子の入試準備はこうだった！

(編)入試に向けてしたことは？



現地で学校の勉強に重点を置き、授業にしっかり取り組ませていた。放課後と週末は本人たちの希望でサッカーをやっていたので、補習校や塾などには通わせていなかった。(シンガポールのインターからお子さんが中2・高1・高3時に編入学したE・Mさん)

まだ小さかったからが筆記試験などはなく、成績表と英語面接のみだった。面接の練習だけはした。(アメリカの現地校からお子さんが小1時に編入学したM・Cさん)



事例 書類審査

成績表だけで落とされることも…志望理由や校外活動記録も大事

「学校によってまちまちですが、書類とは主に願書、現地の学校での成績表、先生の推薦状などのことを指します。現地の学校での成績表は特に重要視されることが多く、求める基準に達していなければそれだけでお断りされてしまう場合もあります」(石塚氏)

また、願書のなかでカギになるのは志望理由と校外での活動履歴だという。「志望理由が教育理念とマッチしているかは大事です。また、ボランティアなど校外で活躍した場合は高評価につながるケースが多いのできちんと書くようにしましょう」(石塚氏)

Aoba-Japan International School

学年にもよりますが、高学年になればなるほど英語力は必須に。特にG9以上は英語力アップのサポートがないため、サポートなしでカリキュラムについて行ける英語力が最低条件です。その上で成績や推薦状、そして生徒の経験などを見ます。

大阪YMCAインターナショナルスクール

成績表、推薦状、学校歴などを見ます。高学年になるほど英語力の有無が影響します。

Christian Academy in Japan

成績がすべてではなく、児童・生徒の個性を尊重して一個人として見るため、具体的な指針はあえて設けていません。

COLUMBIA INTERNATIONAL SCHOOL

学校の成績表(教科の評価と教師のコメント)を見ます。生徒と保護者から本校を志望する理由も書いていただき、教育方針と照らし合わせます。

学校法人名古屋国際学園(Nagoya International School)

「本校以外に(編)入学先があるかどうか」「本校のミッションや方針を理解しているかどうか」「本校が児童・生徒の将来にとって適しているかどうか」の3点を確かめます。筆記試験などの学力テストを実施しないため、過去2年間の成績表と先生からの推薦状で学力を審査しています。

事例 筆記試験

エッセイで学年相当の英語力を測定「MAPテスト」を実施する学校も

筆記試験を行う学校では、(編)入学する学年相当のEnglishとMathのテストを各1時間程度で行うのが通例だ。

「Englishのカギはエッセイ。同じ言葉を何度も使わない、学年のレベルより稚拙な文章は書かないといったことが大事です」(石塚氏)

筆記試験の代わりに、パソコン上で問題を解くMAPテスト(Measure of Academic Progress。主にMath・Reading・Language Usageの試験)を実施する学校も。世界中のインター生が受けるものなのでスコアを比較しやすく、(編)入学時の学力の判断材料にされやすい。

Aoba-Japan International School

面接時、もしくは後日、英語のアセスメント(Reading, Writing, Speaking and Listening)を行います。

大阪YMCAインターナショナルスクール

英語でリテラシー、数学的思考のアセスメントを行います。

Christian Academy in Japan

幼稚園からG2には学習レディネスのためのテスト、G3からG8にはMAPテストとエッセイ、G9以上には数学とエッセイの試験を行います。

COLUMBIA INTERNATIONAL SCHOOL

エッセイの試験を行います。

学校法人名古屋国際学園(Nagoya International School)

英語力のみ、Reading, Writing, Speaking and Listeningの4技能を審査します。該当学年の授業についていくために、どれほどの英語のサポートが必要かの審査をします(基本的に、日本語を話す生徒はサポートなしで該当学年の授業についていける英語力が必要です)。

違いを受け入れる広い視点、 積極性を学んだ5年間

まるで未知だった日本で
中学受験を決意

父親の仕事に従って小学
校入学前から3年生までの
5年間で中国・北京で生活
した青山さん。現地では2
歳年上の姉と一緒に日本人
学校に通い、帰国後は公立
小学校に編入した。

「北京での生活は、水や食
事などふだんの生活で少
し不自由はあったけれど、
色々な文化や考え方にふれ
ることができて、とても貴
重な経験になりました。世
界各国からやってきた人
や、現地の中国人の方々と
の交流の機会も多くて、北
京にはのびのびと意見を言
い合えるアットホームさが
ありました。帰国が決まっ
た時には『帰りたくない』と
駄々をこねるほど生活を楽
しんでいましたね。そのた
めか、帰国後に通った公立
小学校ではストレスを感じ
ることも。自分と同じよう
な帰国生はほとんどいな
かったので、周りの空気を
読み、自分を抑えることを
学ぶ必要がありました」



あおやま しょう 青山 遼さん(14歳)※
東京都立大学 等々力中学校 3年

「中学受験の道を選択した
のは小学4年生の時。まず
は日能研で勉強を始め、さ
らにJ O B Aにも通って帰
国生入試の対策に励んだ。
「北京にいた頃は小学校の

低学年だったこともあっ
て、受験勉強にはまったく
手を付けていませんでし
た。『中学受験をしよう』と
心に決めたのは、2歳年上
の姉が帰国後すぐに中学受
験に挑戦した姿を見た時。
「自分もやってみよう」と思
いました。受験方法は、最
初は一般入試を考えていた
のですが、迷った結果、帰
国生として挑戦すること
に。北京で生活したおかげ
で、人と話したり、自分の
思いを文章で書いたりする
ことが得意になりました。
作文の出来を重視する帰国
生入試のほうが、自分の強
みを発揮できると気付いた
んです」

「そして、複数の候補の中
から東京都立大学等々力中
学校への進学を決めた。
「この学校を選んだ理由の
一つは、すでに各国・地域
からの帰国生が多く学んで
いるということでした。実
際、互いのバックグラウン
ドを認め合い、堂々と自分
の意見を言い合い、助け合
える環境がここにはありま
す。過ごしやすい環境なの
で、安心して勉強や部活を
頑張れています」

将来の夢は警察官
箱根駅伝の先導を夢見て

入学して3年近く経った

今は、勉強はもちろん、部
活や生徒会の副会長職でも
大活躍中。将来の夢は警察
官になることだ。

「帰国してすぐのお正月
に、テレビで箱根駅伝を見
たんです。その時、バイク
で選手を先導する警察官に
すっかり憧れてしまっ
(笑)。学校で剣道部に入部
したのも警察官になるため
でした。生徒会には1年生
の秋に立候補。全校生徒の
前で演説など選挙活動も
頑張って、入ることができ
ました。勉強もそうですけ
れど、部活や生徒会活動な
ど、毎日本当に忙しいです
が、とても充実しています。
これからも、色々なことに
積極性にチャレンジしてい
きたいですね」

夢はプロサッカー選手！ 学校も練習も楽しい

I B教育を継続して学べる
インターへ編入

半年前の6月下旬、森重
くんは家族と共にシンガ
ポールから日本に帰国し
た。親の仕事の都合で生後
5カ月のときに移住。その
後、ずっと現地で育ってき
たから、帰ってきたとい
う感覚はなかったという。
「僕にとってシンガポール



もりしげ えいこう 森重 英威豪くん(13歳)※
アオバジャパン・インターナショナル スクール G8(中2相当)

「アジア圏の生徒が多い学
校でした。また、4歳の頃
にサッカーを始めて、現地の
日本人チームで練習してい
ました。学校やサッカーの
友だちとは、今でもSNS
などでつながっています」
帰国前年の夏、帰国する
かもしれない状況になった
ため、一時帰国して何校か
の学校説明会に参加した。
そのひとつが、アオバジャ
パン・インターナショナル
スクールだった。

「この学校を気に入った理
由は、校庭が人工芝で広く
てサッカーができそうだっ
たことと、説明会のときに
先生方はもちろん、生徒た
ちもみんな笑顔で挨拶して
くれたことです。勉強の面
では、国際バカロレア(I
B)の認定校であること。
シンガポールでもI B認定
校に通っていたので、継続
して学べるからです」

「この学校を気に入った理
由は、校庭が人工芝で広く
てサッカーができそうだっ
たことと、説明会のときに
先生方はもちろん、生徒た
ちもみんな笑顔で挨拶して
くれたことです。勉強の面
では、国際バカロレア(I
B)の認定校であること。
シンガポールでもI B認定
校に通っていたので、継続
して学べるからです」

「友だちはすぐにできまし
た。僕にとって少し難しいの
は、日本語の授業です。漢
字を書くのが苦手です。た
だ、それ以外の授業は英語
なので問題ありません。授
業は基本的にグループワー
クで、みんなで意見を出し
合いながら課題に取り組ん
でいきます。最初は自分
の考えを言えませんでした
が、自然と言えるようにな
ってきました。自分とは違う
意見を知ることができるの

「新しい環境にも慣れて、
毎日が充実しているという
森重くん。将来の夢は？
「プロのサッカー選手で
す。それが無理でも、サッ
カーに関係する仕事に就き
たいです。イングランドの
プレミアリーグのサッカース
タイルが好きなので、選手に
なって住んでみたいな」

親がしてくれたことで 感謝すること

帰国前 インターに通わ
せてくれたことで、いろ
いろな国の子と友だち
になれたし、英語力もつ
きました。また、サッ
カーもやらせてもらえ
ました。誰もが好きなこ
とを続けられるわけ
ではないので、恵まれた環
境だと思います。

帰国後の 学校への入学方法

受験方法 帰国生入試

選考方法 書類選考、面接

受験勉強
開始時期 特になし

海外滞在時の 思い出写真



帰国当日、空港へ向かう
途中で父が撮影した、母と僕
の兄弟の写真。『もう最後だ
な』という気持ちでした。こ
こは、ガーデンズ・バイ・ザ
・ベイという観光地です。いつ
かまたシンガポールに行き
たいです」

親がしてくれたことで 感謝すること

帰国前 北京の日本人学
校しか知らなかったの
で、帰国して日本の学校
に編入するのは特に不安
でした。しかし、両親は
どんな時でも「大丈夫
だよ」と励まし続けて
くれました。姉や妹も含
め家族全員で支えあえ
たのにも感謝です。

帰国後の 学校への入学方法

受験方法 帰国生入試

選考方法 国語、算数、作文(日本
語)、面接

受験勉強
開始時期 小学校4年の春

海外滞在時の 思い出写真



北京のフランス人学校
と共同開催したドッジ
ボール大会にて。『色々
な国の人とコミュニ
ケーションする機会が
あって、和気あいあい
と楽しく過ごしまし
た。合同で百人一首
大会を行ったのもいい
思い出です』(右奥)

15歳からの高等教育 英語で学ぶボーディングスクール



1・2年次が全寮制で学ぶ白山麓キャンパス



キャンパスには広々としたグラウンドが整備され、スポーツをやりたい生徒たちにも好評だ。授業のほか、様々なアクティビティが行われる。

国際高専の学びを体験しよう！

詳細はHPでお知らせします

学校見学会

2018年に完成した白山麓キャンパスで国際高専ならではのユニークな授業を英語で体験できます。

【内容】 学校紹介、入試説明、奨学金説明、授業体験など

【日程】 6月9日(日)、7月28日(日)、8月25日(日)、
9月22日(日)、11月3日(日)

【対象】 中学生、保護者の方 【会場】 白山麓キャンパス

サマースクール

国際高専のカリキュラムの中心的な科目である「エンジニアリングデザイン」に3日間取り組み、新しいモノやコトを創り出す楽しさを英語で体験します。

【内容】 エンジニアリングデザイン体験、キャンパス見学、
白山麓の自然の中でのアクティビティなど

【日程】 8月8日(金)～10日(日) 2泊3日

【対象】 中学生、保護者の方

【会場】 白山麓キャンパス・金沢キャンパス



金沢キャンパス 石川県金沢市久安2-270 Tel.076-248-1080
白山麓キャンパス 石川県白山市瀬戸辰3-1
www.ict-kanazawa.ac.jp

ICT 学校法人金沢工業大学
国際高等専門学校



異学年の交流も活発な
アットホームな学風
アオバジャパン・インターナ
ショナルスクール(以下、A
JIS)は国際バカロレア(以
下、IB)の教育を実践する。
その教育環境は、様々な国
や地域からの帰国生にも適
しているのだろうか。
「IB教育は、二つの国のカリ
キュラムに縛られない国際基
準でデザインされており、ど
の国での学習経験も尊重す
る、帰国生にとっては、なじ
みやすい環境といえます。ま
た、本校には学年を超えて
交流するアットホームな雰
囲気があり、編入生などもす
ぐに学校に慣れるようです」
と、小澤大心氏は説明する。

一人ひとりの可能性と学ぶ意欲を引き出す
国際バカロレア(IB)一貫校の探究型学習
アオバジャパン・インターナショナルスクールでは、国際バカロレア
(IB)の認定校として、児童生徒の考えや価値観を尊重しながら、自ら学ぶ意欲を支援する教育を実践する。一人ひとりの可能性
と潜在能力を引き出す探究型学習について、話を聞いた。



アオバジャパン・
インターナショナル
スクール
文部科学省IB教育推進
コンソーシアム担当
小澤大心氏

フレンドリーな環境は、学年
を超えた課外活動も一つの理
由だろう。例えば、小4
中2の生徒が参加する「リ
ーディングキャンプ」。昨年は
二泊三日でキャンプを行い、
森林アドベンチャー、ラフティ
ング、トレッキングなどの自
然体験活動を行った。
「キャンプでは、異学年混合
のグループで活動し、上級
生は下級生を手助けし、グ
ループをひっぱる。下級生た
ちは、自分の気持ちをうまく
相手に伝える方法を体験
的に学びます。」
また、グループに課された役
割を果たすため、生徒たち
は話し合い、互いの意見を
認め合いながら、方法を模
索。途中の振り返りを経て
プレゼンをします。こうし

た活動は、「心を開く人」思
いやりのある人」などの、I
Bの学習者像にも繋がってい
るのです。
充実のICT環境で
IBの探究型学習を
もちろん、クラスルームで
も、IBの理念を反映した
探究的学習が行われる。
「AJISでは、生徒それ
ぞれの経験や関心を尊重し、
教師は、生徒に学ぶ方法や
流れを提示せず、生徒を
支援するファシリテーターに
徹します。生徒自身がアプ
ローチの仕方とも考え、例えば、
『飢餓』がテーマなら、国際
的な視点から考える生徒も
いれば、自分に身近な生活
からアプローチする生徒もい
ます」。
こうしたAJISの探究
型学習は、PYP(3～11歳)
教育の段階から始まり、M
YP(11～16歳)では、その
成果を学習発表会でプレゼ
ン。DP(16～18歳)の「課題
論文」では、科目やテーマか
ら生徒自身が決め、数学や
生物の分野で論文を書く生

徒もいる。
充実したICT環境も、
探究型の学びをサポートす
る。幼稚園年中生から小3
生まではタブレットを、小4
生以降は、ラップトップ型パソ
コンを一人一台所有している。
「生徒は本校オリジナルのア
プリケーションを使って、レ
ポートをまとめ、オンライン
上で提出するほか、教員への
質問や相談もできます。な
かには、自分のコンピュータ
ゲームをプログラミングする
生徒もいます」。
AJISには、真の国際
人育成を目指し、一人ひとり
の可能性を引き出す教育環
境が息づいている。

Aoba-Japan
INTERNATIONAL SCHOOL
www.aobajapan.jp

Hikarigaoka Campus
〒179-0072 東京都練馬区光が丘7-5-1
TEL+81-3-6904-3102

Meguro Campus
〒153-0042 東京都目黒区青葉台2-11-5
TEL+81-3-5428-4488